

第8回デジタルヘルス勉強会のご案内

ICT、AI、ビッグデータを活用し、効率的で質の高い介護の実現を目指し、ヘルスケアのデジタルトランスフォーメーションに向けて、最近のデジタルヘルスに関連する情報提供を目的に勉強会を開催しております。今回、認知症高齢者に対する介護の在り方について科学的な分析に基づくケア理論を研究されております一般社団法人認知症高齢者研究所様に講演いただきます。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

日時：2023年3月8日(水) 14:00～15:00

形式：Zoomミーティング (13:45より入場可)

テーマ：「AMED 日本医療研究開発機構(認知症対応型 AI・IoT システム研究推進事業)から最新研究報告 “認知症対応型 AI 技術の現状と展望”」



【概要】「認知症対応型 AI・IoT システム」を活用してデータ解析によりBPSD 予測を行い、認知症に対する理解と適切な対応を推奨する、経験則に頼らない専門的な運用システムを確立した。認知症の状態を正確に把握するために、IoT センサーで得られた情報や介護記録を AI 解析することで、介護者に大きな負担とストレスをもたらす BPSD の発症時期を予測し、発症する前に対応することで発症を抑え、介護負担軽減および介護の効率化による人材不足の解消を目指した高度な AI を開発した。その研究内容についてご報告する。

講師：一般社団法人 認知症高齢者研究所 代表理事 兼 研究所長 羽田野 政治 氏

【プロフィール】1956 年生まれ、1977 年より社会福祉法人青葉福祉学院常務理事 2002 年より横浜福祉研究所所長兼医療法人香風会認知症高齢者研究室主幹、2011 年より一般社団法人認知症高齢者研究所代表理事兼所長を務める。1994 年から認知症高齢者のケア研究に専念、脳科学を活用した認知症緩和ケアを研究、介護の現場に医療の科学的分析手法を導入したキョウメイションケア理論は、国内外の学会で数々の賞を受賞、海外から関心を寄せられている。現在は、厚労省や総務省の専門委員を務める傍ら、AMED や東京都等から公的研究を受諾、認知症ケアに AI や IoT を導入した科学的ケアの研究活動を精力的に行っている。研究論文多数

申込方法

下記参加申込WEBフォームからお申込みください。

◇参加申込WEBフォーム**【申込締切：3月6日(月)】**

https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZApC-yvqzsqG9GMATJXKL7Ud9TmH3_a77TN



◇インターネット接続可能な機器 (パソコン・タブレット端末・スマートフォン等) をご用意ください。

◇申込フォームを受領後、参加申込いただいたメールアドレスに、ご視聴用URLを送信します。

◇申し込み後に送付されるご視聴用URLは1件につき1名のみ視聴が可能です。

ご視聴用URLを他の方へ転送することはご遠慮ください。

◇講演資料の印刷は可能ですが、データの公開やコピーは禁止いたします。

◇著作権保護等の点から、講演の録画、録音、撮影、およびSNS等へのアップロードは禁止いたします。

◇ご提供いただいた氏名等の個人情報は、当勉強会の運営のみの目的で使用し、他の目的には使用しません。

詳しくは、参加申込者へ別途メールにてご案内いたします。

【主催】 富山県、(公財) 富山県新世紀産業機構

【お問合せ先】 (公財) 富山県新世紀産業機構 イノベーション推進センター ヘルスケア担当まで
〒933-0981 高岡市二上町150 富山県産業技術研究開発センター技術開発館2階
e-mail: health@tonio.or.jp TEL/0766-24-7112 FAX/0766-24-7122